



# おしどり三二だより



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人近江ちいろば会  
地域密着型  
デイケアの家おしどり

**法人理念:人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい**

2022年5月

寒暖の差が激しい4月でした。しかし着実に季節が進み桜の散った後には美しく咲き誇った三つ葉つつじが皆様を楽しませてくれました。散歩に出てヨモギを採り、きれいに掃除をして、よもぎもちを皆さんと作り、作りたてをいただくなど春を楽しみました。

今月も感染対策を講じつつ、楽しく元気に皆様と過ごしていきたいと思えます。今月もご指導、ご鞭撻のほどをお願いいたします。



## 「一人ひとりを大切に」

「あ～しんどい」「家に帰りたい」とOさんは、毎日してくださっているアイロンがけの途中で怒り始められます。

毎日のアイロンがけの仕事は重荷なのかと思い「やめておきますか？」と伝えますが、「これはやる」と答えられます。

ある日も「あ～しんど、家に帰りたいわ」と怒りながら言われたので、「しんどいのですね？送りますよか？」と伝えると、「家に帰っても一人やしすることないしおしどりにいる」と返答がありました。又違う日は「家に帰っても食べるものないし、おしどりでご飯を食べて帰る」と言われました。この方はやみくもに「帰りたい」と言われているのではなく自身の環境など十分に理解されています。

そして又いつものように「しんどい」と言われた

ときに、気持ちが落ち着くようにそっと後ろに回り背中をなでると「あ～気持ちいいわ～」という言葉があり、さらに肩を揉むと「若いころは肩を揉んでもらうとこそばい気がしたけど、もう年やし肩がこっているんやなあ！自分は肩こりなんか無縁だと思込んでいたわ」と言われました。

私たちは、体に痛みがあっても「しんどい」、心に不安や悩みがあっても「しんどい」という表現をすることがあります。

この方にとって何が「しんどい」のかまだはつきりとしたことは解りませんが、職員はその都度、一人一人のご利用者様に向き合い、少しでもしんどい気持ちや痛みが和らぐ対応ができ、今日もおしどりに来て良かったと思っていただける関わりをしていきたいと願っています。

## 新職員のご紹介

「初めまして、4月よりお世話になっております理学療法士です。皆さんと機能訓練ができること楽しみにしています。運動や体操等気になる事があればお気軽に声をかけてください。



5月から入職いたしました。皆さんと笑顔で楽しく元気に過ごせるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



4月27日草もちを作りました。男性陣が力を振るって下さり弾力のある美味しいお餅がつきあがりました。「こんなことが経験できて今日来て良かった」と喜んでくださる方もおられました。



春のウォーキングは野草をたくさん見つける事ができます。よもぎ、ワラビ、イタドリなどを見つけると皆様の懐かしい話が出てきます。今年もよもぎを摘んで団子や草もちを作りました。

「懐かしいわ、私は田舎育ちだからこんなこと良くしたのよ」



## 生活 リハビリ



皆さんはお家で茶摘みをしてお茶を作られたことはありますか？おしどりでは毎年、庭のお茶の木の新芽を摘んで、手もみをして新茶を楽しんでいます。「こんな風にして作るのね？」一緒に作りながら感激されていた方がおられました。高級な味とは言えませんが、手もみの新茶は、春の香りいっぱいでした。



毎日、午後は「遊ビリテーション」の時間です。遊ビリテーションとは遊び感覚で楽しく体を動かし筋力維持目指しています。今日は新しい道具を使って（職員と皆様の手作り）ゲートボールを楽しみました。実際にやってみると難しいですが皆様やる気満々!!

